2010年4月より

T-12 Project スタート!!

大成女子高校は昨年、学園創立100周年を迎えました。101年目となる2010年の新入生を対象に[T-12 Project]をスタートさせます。

「T-12」とは入学者に対する12項目の約束であり、変化の激しい現代社会の中で、変わらずに輝き続けることのできる女性を育てるためのプロジェクトです。

[T-12Project] 12項目の約束

学校全体

01 女性としての資質が高まります
02 自分の目標、スタイルが必ず見つかります
03 勉強と部活動、両方全力で取り組めます

普通科

04 勉強が好きになり、学力が必ず向上します
05 英語検定準2級以上に合格できます
06 普通科の枠を超えた学びが可能です

家政科

07 未来のフード・ファッションのスペシャリストを養成します
08 家政分野の検定で、1級を取得します
09 「安心・安全・環境」の授業が受けられます

看護科

10 看護師資格が必ず取得できます
11 看護教育を通して、豊かな人間性が育ちます
12 進路の希望を実現できます

新入生からの変更点

●普通科が１コース制に

これまでの特別進学コースと進学コースを合わせた"いいとこ取り"のプログラム「I.C.E.(Integrated Comprehensive Education)」で、全生徒が学びます。

●家政科が２コース制に

２年次から一人ひとりの希望に応じて、より専門性を高めた「フードデザインコース」と「ファッションデザインコース」に分かれて学びます。

●放課後の活動時間をたっぷり確保

平日は毎日15時15分（看護科は週１回16時15分）で終了するので、部活動や大学受験のための課外授業、目標実現のための活動に、余裕をもって取り組めます。

●早朝課外授業がスタート

放課後は部活動に全力で取り組みたいという人のための時間です。勉強も部活も両方頑張る人を応援します。

新2・3年生の変更点

●普通科進学コース・家政科は、月～金曜６時間授業、土曜日は月１回登校に

平日は毎日６時間授業となり、部活動などに取り組む時間が確保されます。普通科・家政科・看護科とも、土曜日はこれまで定期試験や学校行事を実施する日の登校でしたが、2010年度より原則月１回登校し、授業を行います。

特長ある授業

■普通科

「医療・看護系国語(仮称)」
「医療・看護係数学(仮称)」

医療系の大学・短大、看護専門学校を目指す人が選択できます。国語では、医療系の学校で出題される小論文の対策を行ったり、看護師資格をもつ看護科の先生の指導が受けられます。数学では、看護師養成学校の入試を徹底研究し、対策を基礎から行っていきます。

■普通科「発達と保育」

幼稚園教諭、保育士を目指す人に特にお薦めです。乳幼児の発育や生活の特徴、保育の意義や方法、児童福祉の考え方などについて学びます。大成学園幼稚園での体験実習や、日本赤十字社の「幼児安全法・家庭看護法」を合わせて行い、スペシャリストに一歩ずつ近づきます。

■普通科「コミュニケーション論」

コンピュータネットワークを利用した英作文指導や、英語でさまざまなことを発表するプレゼンテーションとその活動で用いるスライドの作成など、画期的で楽しい授業が展開されています。発表を重ねていくうちに、自分の個性を上手に出せるようになってきます。

■家政科「生活環境論(仮称)」

環境破壊が進み、生活の不安が高まっている現代にあって、環境にやさしい行動をしたり、安全や安心を得ることは、生活を営む上で絶対に必要なことです。この授業では、専門家の方からお話を聞いたり、見学や体験実習を通して、暮らしをどのように守るべきかを考えます。

掲示板

文集「なでしこ」掲載作品募集

毎年3月に発行される文集「なでしこ」に掲載する、本校生の作品を募集します。小説、詩、短歌、俳句、絵画、イラスト、写真など、何でも結構です。誌面の都合上、掲載できない場合もありますのでご承知ください。原稿の締切は1月末です。

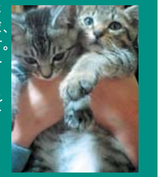
●申し込み、お問い合わせは鈴木先生まで。

「３年生を送る会」ステージ発表者募集

2月26日に行われる「３年生を送る会」で、ステージ発表してくださる方を募集します。３年生に贈る歌、ダンス、パフォーマンスなどをお待ちしています。もちろん、卒業生の発表も歓迎です。

●申し込み、お問い合わせは 塙先生 まで。

あなたのメッセージ募集します



2年7組 中平さんの愛猫「サリー(左)」と「ラボ(右)」

メンバー募集やお知らせ、オススメの映画や本、自分のペットの写真など、みんなに伝えたいことを掲載します。

●申し込みは **To Say!** 編集部（メールアドレスtosay@taisei.ac.jp）まで。在校生はクラスと氏名、それ以外の方は連絡先と氏名を明記してください。

次回の To Say! は4月上旬発行予定です。

- 入学・進級おめでとう
- 部活動リサーチ
- ニュース　● 学科・コース・系の活動
- To Say! インタビュー

発行日／平成22年1月16日　To Say![トゥ・セイ] Vol.32 2010
編集・発行／大成女子高等学校 To Say! 編集部　tosay@taisei.ac.jp

学校法人大成学園
大成女子高等学校
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町3-2-61
Phone:029-221-4888 Fax:029-228-2850
http://www.taisei.ac.jp/ mailto:tghs-info@taisei.ac.jp

校内スケジュール

1月		
16	土	一般入学試験　大学入試センター試験
17	日	大学入試センター試験
18	月	英単語テスト
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	計算力テスト
23	土	
24	日	英語検定1次試験
25	月	
26	火	学年末試験(3年)
27	水	学年末試験(3年)　進路マップ(1年・2年)
28	木	学年末試験(3年)
29	金	学年末試験(3年)
30	土	
31	日	
2月		
1	月	
2	火	
3	水	英単語テスト
4	木	全校集会
5	金	
6	土	秘書検定
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	建国記念日
12	金	漢字検定
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	学年末試験(1年・2年・3年看護科)
18	木	学年末試験(1年・2年・3年看護科)
19	金	学年末試験(1年・2年・3年看護科)
20	土	学年末試験(1年・2年・3年看護科)
21	日	英語検定2次試験
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	国語テスト
26	金	3年生を送る会
27	土	
28	日	
3月		
1	月	卒業式・なでしこ会同窓会入会式
2	火	
3	水	
4	木	進路ガイダンス(1年)　計算力テスト
5	金	
6	土	第42回吹奏楽部定期演奏会
7	日	
8	月	
9	火	生徒会役員選挙
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	終了式
21	日	春分の日
22	月	振替休日
23	火	新入生説明会

大成女子高等学校情報誌 To Say![トゥ・セイ]
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町3-2-61 Phone:029-221-4888 Fax:029-228-2850 http://www.taisei.ac.jp/ mailto:tghs-info@taisei.ac.jp

To Say!

Taisei Girls' High School

大成女子高等学校 情報誌［トゥ・セイ］

Vol.32 2010

101 新たなスタート 次の百年に向けて

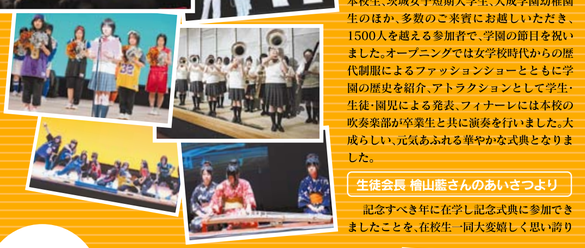
We are POWERFUL
●女子高生はパワフルでなきゃ!

T-12 Project始動
●目標をかなえる学びがさらに充実

おめでとう! インターハイ優勝・国体上位入賞
●部活動・個人活動の成果

100th Anniversary

大成学園創立100周年記念式典



に感じております。大成とは「完全に成し遂げること」と辞書にありますが、私たちは日々、自らの夢に向かって勉学に励み、イベントや行事の時など、全員が一致団結し成功を目指しています。私たちの目標達成のためにどの先生方も熱心に指導してくださり、私たちも生徒の意欲を引き出してくださいます。先生方と生徒が一つとなり同じ目標を目指しているからこそ、一つひとつの努力が輪となり、完全に成し遂げることと、という意味を成しているのだと思います。一年ごとに一輪ずつ増え続けてきた撫子(なでしこ)の花が、百周年を迎えた今、百輪のすばらしい花束になりました。今後も大成が発展し、二百、三百と美しい撫子の花が咲き誇ることを願い、お祝いの言葉とさせていただきます。

大成学園創立100周年記念 オリジナルリカちゃんキーホルダー発売

7月11日、茨城県民文化センターにおいて「大成学園創立100周年記念式典」が行われました。本校生、茨城女子短期大学生、大成学園幼稚園生のほか、多数のご来賓にお越しいただき、1500人を越える参加者で、学園の節目を祝いました。オープニングでは女学校時代からの歴代制服によるファッションショーとともに学園の歴史を紹介、アトラクションとして学生・生徒・園児による発表、フィナーレには本校の吹奏楽部が卒業生と共に演奏を行いました。大成らしい、元気あふれる華やかな式典となりました。

大成女子高等学校父母の会の企画で、大成オリジナルのリカちゃんキーホルダーが作成されました。今年度の在校生と、2010年4月の新入生にプレゼントされます。また関係者や一般の方には、1個1,000円(税込)でお求めいただけます。限定3,000個で無くなり次第終了です。

ご購入の希望やお問い合わせは、大成女子高校父母の会事務局(TEL 029-221-4888)にお電話いただくか、http://www.f-bridge.net/licca/をご覧ください。

生徒会長 檜山藍さんのあいさつより

記念すべき年に在学し記念式典に参加できましたことを、在校生一同大変嬉しく思い誇り

撫子祭 2009 9.18-20

Evolution!

～過去から未来へ 夢を追う少女たち～

2009年は大成学園創立100周年となる記念の年。7月の記念式典に続き、「撫子祭」も盛大に開催されました。「長い歴史を振り返り、未来へ力強く羽ばたこう」と掲げたテーマにふさわしい2日間でした。そして…100周年記念として3日目にはライヴも！地域の方に支えられ、家族や友人、先生との絆を深められた記念すべき撫子祭の様子をお届けします。ご来場いただきました、多くの方々に厚く御礼申し上げます。

オープニングセレモニーは「ひまり」のミニライヴで幕を開けました。

驚きの声はやがて黄色い歓声へ…熱い3日間の始まりです。

昨年度まで文部科学省より指定を受けた「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)」に続き、今年度から「英語教育改善のための調査研究学校」として活動しています。これを活かして外国語科では「Fun with English」を行いました。小学生のみなさんに3つのゲーム(Fruit Basket, Concentration, Who am i?)を通して英語を楽しく学んでもらう企画です。会場の体育館には、にぎやかな笑い声が絶え間なく響いていました。科学医療系と理化部主催の「わくわくサイエンス」では、意外な実験結果に驚きの声。教室中が風船に溢れた「バルーンプール」や「巨大ジェンガ」、クラスや部活動主催の模擬店も賑わいを見せました。また、歴代の制服を展示したパネルの前では、懐かしそうに足を止めるお客様の姿も。台風やインフルエンザの影響が懸念されましたが、無事、大成功を収めることができました。

●特別ゲスト　文化祭3日目には会場をひたちなか文化会館に移し、記念LIVEが開かれました。ゲストは「Sonar Pocket」と「0 SOULT(ゼロカルブ)」の2組。パワフルなステージに釘付けの2時間でした。企画・実行委員のみなさん、父母の会や後援会の皆様、ありがとうございました。

吹奏楽部　東関東大会出場!!
念願のA部門県代表

8月8日に行われた茨城県吹奏楽コンクールにおいて、吹奏楽部が金賞を受賞。A部門では初めての茨城県代表に選出されました。9月5日、神奈川県よこすか芸術劇場で行われた東関東大会では、銅賞でしたが、大成らしい演奏を披露してきました。

「初めての金賞、そして県代表に選ばれた瞬間、部員の歓声とともに目にはたくさんの涙があふれ、今まで味わったことのない気持ちでいっぱいでした。東関東大会では銅賞でしたが、結果など関係ありません。やはり一番なのは、私たちが目標にしてきた[奏者と聴衆がともに感動できる音楽]だと思います。ここまで支えてくださった方々には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも後輩達には、いつどんなときでも、感謝の気持ちを忘れずに、目標に向かって頑張ってほしいです。」(吹野ひかるさん)

■大成女子高等学校吹奏楽部 第42回定期演奏会

日時／3月6日(土)　13時30分開場　14時00分開演
場所／茨城県民文化センター(入場無料)
指揮／船山貴司　曲目／「ローマの祭」「3つのジャポニスム」ほか

2部のポップスステージでは、ブラックライト劇や合唱など、吹奏楽以外でも盛りだくさんの内容です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

入賞おめでとう!

■第51回県央地区高等学校演劇祭 …… 優良賞　演劇部
■秋期水戸地区高等学校剣道大会 …… 1年生女子個人の部 3位　金子 由香理
■第64回茨城県合唱コンクール …… 銅賞　コーラス部
■第60回関東高等学校水泳競技大会 …… 女子3m飛板飛込 3位　畑岡 映美
…… 女子100m自由形 3位　田山 香菜子
■茨城県高等学校新人水泳大会 …… 女子100mバタフライ 1位　菊池 真実
…… 女子50mバタフライ 1位　菊池 真実
…… 女子200m 自由形 1位　菊池 真実
■第44回茨城県アンサンブルコンテスト中央地区大会
…… サクソフォン四重奏　優秀賞
…… 打楽器五重奏　優良賞
…… 金管八重奏　優良賞
■茨城県高等学校新人バドミントン大会水戸地区予選
…… 女子ダブルス 2位　小野 香織・大塚 千絵
…… 女子シングルス 1位　小野 香織
…… 女子学校対抗 3位　バトミントン部
■関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会 …… 3位　バレーボール部
■茨城県高等学校陸上競技新人大会 …… 女子やり投げ 5位　弓野 晃奈
…… 女子やり投げ 5位　在間架 奈恵
■茨城県英語インタラクティブフォーラム2009水戸地区大会
…… 優秀賞　富澤 さゆり
■茨城県山火事予防ポスターコンクール …… 佳作　久野 友里加
■茨城県国土緑化運動・育樹標語コンクール
…… 準特選　高橋 侑莉
…… 入選　黒氏由実　菊池 美沙
■第2回茨城県女子フットサルリーグ …… 3位　フットサル部
■茨城県高等学校総合文化祭美術展覧会 …… 書道の部 入選　福岡 真帆
■愛鳥週間ポスター原画コンクール …… 入選　加山 栞・望月 早季
■第20回大好きいばらき作文コンクール …… 理事長賞　鈴木 絢子
■人権啓発ポスターコンクール …… 佳作　岡崎 梓
■介護の日作文コンクール …… 優秀賞　小堀 真穂
■茨城県交通安全ポスター作品コンクール
…… 優秀賞　菊池 ひかり
…… 佳作　関 あかね

[To Say!] interview

夏から秋にかけて行われたインターハイ・国民体育大会等で、上位入賞した3人にお話を聞きました。

■3年 田山香菜子さん 水泳(競泳)
インターハイ女子100m自由形優勝(大会新)、国体少年女子A100m自由形第3位・400mリレー第3位
■3年 畑岡映美さん 水泳(飛込)
国体少年女子飛板飛込第4位、インターハイ女子飛板飛込第6位
■1年 平井悠希さん 山岳
国体少年女子リード準優勝・少年女子ボルダリング準優勝、クライミング世界ユース選手権日本代表

―― あらためまして、入賞おめでとうございます。そのときの感想を聞かせてください。

田山:自分が優勝するなんて、信じられませんでした。今まで諦めずに水泳を続けてきて、本当によかったと思いました。

畑岡:今年は特にレベルの高い選手が多く、決勝にいけるかどうかもわかりませんでした。思っていたよりも上位で入賞することができ、周りの人も喜んでくれて、とても嬉しかったです。

平井:優勝を目指していたので悔しかったけれど、茨城県が山岳競技で皇后杯1位、天皇杯3位になれて、本当に嬉しかったです。

―― 競技はいつから始めたのですか。

田山:2歳くらいからです。2人の兄が共に水泳をやっていたので、その影響で始めました。

畑岡:小学校4年から。父がコーチをしていたので練習場に連れて行ってもらい、楽しそうだったので始めました。

平井:私も小学校4年からです。クライミングとあわせて取り組んでいるアルペンスキーの、夏場のトレーニングとして始めました。

―― ふだんはどんな練習を。

田山:スポーツクラブで毎日2時間練習しています。結構キツイです。

畑岡:夏は試合で使う種目の練習や基礎練習、冬はトランポリン、筋力トレーニングなどをしています。

―― 試合本番では緊張しますか。

田山:緊張しますが、周りのみんなが応援してくれるので大丈夫です。あとは自分を信じるだけです。

平井:音楽を聴いたりして気を紛らわせています。

フランスでの世界大会は日本より規模がずっと大きく、泣くほど緊張しました。

―― 競技中は何を考えているのですか。

田山:とにかく、はやく泳ぎ切ることだけを考えています。

畑岡:空中では、周りの景色を見て水に入るまで、すべてを集中しています。見ているときよりも、自分で跳んでいるときの方が少し長く感じます。

平井:壁を登っているときはほぼ無心に近く、集中しているためよく覚えていません。

―― ラッキーアイテムや、おまじないなどがありましたら教えてください。

平井:競技のパートナーとおそろいのチョークバッグと、お守り、フランスで買ったクマです。

畑岡:演技を意識し、「自分ならできる」と言い聞かせることです。

―― 今後の目標は。

田山:高校卒業まであと2回大きな大会があるので、悔いの残らないレースをしたいです。大学でも水泳を続け、日本代表になりたいです。

畑岡:まずは大学でインカレに出場することです。そのためにいま体力をつけたり、筋力トレーニングをしています。

平井:スキーでのインターハイ出場、秋・冬両方の国体出場、アジアユース選手権での上位入賞です。

―― ありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。

新生徒会役員選出

9月29日に平成21年度後期生徒会役員選挙が行われ、10月からの新生徒会役員7名が任命されました。新生徒会長の田那辺理沙さんに抱負を聞きました。

後期生徒会の主な活動内容は「ペットボトルのキャップ集め」「3年生を送る会」「全校集会」「マナーアップ運動」の企画・運営です。今年から始めたペットボトルのキャップ集めでは、集めたキャップをリサイクルし、その対価でワクチンを買って、世界中の子どもたちの命を救うことができます。

今までは簡単にキャップを捨てていましたが、今ではすぐに回収箱に入れる習慣がつきました。マナーアップ運動では、水戸駅周辺で呼びかけ運動を行います。全校集会では、私たちが生徒をまとめ、クラスや部活動などの活動を紹介していきます。3年生を送る会での目標は、3年生を送り出す1、2年生の意見を取り入れた企画を実施することです。そこで、1年生と2年生からどんな企画を行いたいかのアンケートをとり、その意見をまとめて今までにない最高の会を実施できるように努力したいと思います。

生徒会役員全員で、学校をさらに良くし、生徒のみなさんが毎日充実した活動を送れるように精一杯活動していきたいと思いますので、どうかご協力よろしくお願いします。

普通科　科学・医療系2年

「青少年のための科学の祭典・ひたちなか大会」に参加

11月7・8日の2日間、科学・医療系の2年生が、ひたちなか市総合体育館で行われた「第1回青少年のための科学の祭典・ひたちなか大会」に参加しました。「科学の祭典」とは実験を通して子どもたちに科学の楽しさを伝えるイベントで、科学・医療系の生徒が毎年、県内各地で行われる大会に参加しています。今回は、「スライムを作ろう」「万華鏡を作ろう」のブースを出展しました。

「万華鏡を担当しました。最初は緊張しましたがすぐに慣れました。出来上がった万華鏡を覗いて笑顔になってくれるのがとても嬉しくて、私も笑顔になってしまいました。」(K.Y.さん)

「3人のお孫さんのためにスライム作りに参加された年配の女性の方が、印象に残っています。とても嬉しそうに作られていました。人からありがとうと言われる嬉しさを、あらためて感じました。」(S.A.さん)

「たった1日の活動でしたが子どもたちの笑顔をたくさん見ることができ、とても有意義な時間となりました。」(T.S.さん)

「参加してくれた子どもたちが体験したことをずっと覚えていて、私たちのように科学を好きになってくれたらうれしいです。」(T.A.さん)

「目を離した際に起こる幼児の事故防止法を学べてよかった。この経験を保育士になったら活かしたいと思います。」(S.S.さん)

「転倒・火傷・窒息・交通事故など、幼児には危険が多い。とくに圧迫止血法は勉強になりました。」(N.K.さん)

「バンダナやストッキングを使った止血法や、脱臼・骨折・捻挫の応急手当法を、部活でも実践したいです。」(E.M.さん)

1年生

合唱発表会

12月3日、1年生の合唱発表会が行われました。校長先生、音楽担当の坂本先生と高野先生、学年の先生方を審査員に迎え、各クラスがハーモニーを競い合いました。新型インフルエンザの影響で、約1ヶ月延期されての開催となりましたが、その分コーラスの完成度は高く、例年になく熱い戦いとなりました。接戦を制したのは2組。自由曲のタイトルのように、栄冠をつかんだことでクラスの絆は一段と深まったようです。

●金賞……2組 自由曲「Best Friend」
●銀賞……1組 自由曲「君と見た海」
……3組 自由曲「かたちあるもの」
●銅賞……4組 自由曲「月のしずく」
……5組 自由曲「明日への扉」
●指揮者賞／草野絵里香さん・佐藤令菜さん(2組)
●伴奏者賞／中村有沙さん・川井奈々さん(1組)

看護科3年生

水戸協同病院でクリスマスキャンドルサービス

12月22日、看護科3年生が、実習先でもある総合病院水戸協同病院で、クリスマスのキャンドルサービスを行いました。生徒達はキャンドルを持ち、「ジングルベル」「サンタが街にやってくる」などのクリスマスソングを合唱しながら病棟を回り、実習の合間をぬって作ったカードとキャンドルの灯りを、ベッドサイドで患者さんに手渡しました。訪問を楽しみに待ってくれていた実習の受け持ち患者さんもいて、お返しに感動をいただきました。

「一人ひとりの患者様からあたたかいお言葉をいただき、私も元気をいただきました。」(S.A.さん)

「患者様が元気になっていただけることを祈っています。貴重な経験をすることができて嬉しく思います。」(O.A.さん)

「病気と闘っていて、つらいことや不安なことがあると思いますが、少しでも気持ちを和らげていただけたらと思いました。」(A.H.さん)

「患者さんはもちろん、看護師さんも暖かく迎えてくださいました。この感動を忘れず、立派な看護師になりたいです。」(O.A.さん)

家政科3年生 全日本きもの装いコンテストに出場

家政科3年の高崎彩香さん、山本沙也歌さん、渡辺理絵さんが、11月23日に茨城県民文化センターで行われた「全日本きもの装いコンテスト関東大会」学校対抗の部に出場、大学生や専門学校生のチームも参加する中、見事第4位に輝きました。3人が1チームとなり、舞台上で3～5分で和服を着装するこの競技、3人は半年以上前から練習を重ね本番に臨みました。

「日本人の古来からの美しさを感じることができました。」(高崎さん)

「礼儀作法についても学ぶことができ勉強になりました。」(山本さん)

「短時間での着装はとても難しく、大変でした。」(渡辺さん)